

## 第4節 日常生活の中での学習

以上、小・中学生の学習を家庭、学校、学校外教育機関の3つの領域に分けて見てきた。しかし、本調査が学習とみなすのは、これらの集団や機関での学習だけではない。本調査では、遊びや親との会話、マスメディアとの

接触、家の手伝いなどの児童・生徒の日々の生活そのものが、生活の知識や技術の獲得、性格の形成、生き方の学習などの幅広い意味での学習であり、それはまた「学校の勉強」の基礎となるものでもあると考えている。

### 1. 学年と日常生活の中での学習

本調査では、表1-14にある24質問項目で児童・生徒の日常生活の中での学習状況を調べている。表の中の中・高校生の空欄は、その質問項目は小学生にしか尋ねていないことを意味する。さらに、小学生と中・高校生では一部質問文の言葉が違っているが、学年別の比較の中では小学生に合わせて統一してある。また、小学5年生と中学2年生については、後でくわしく分析するので、ここでは学年別の変化を中心にこの表を見たい。

さて、この表を見ると、学年が高くなるほど「よくする(時々する)」と答える割合が減っていく傾向がある。例えば、⑦家で動物・植物の世話をするでは、小学5年生では60.5%が「よくする(時々する)」と答えているが、中学2年生では48.5%、高校2年生では38.2%とその値は減っていく。同様な傾向は、⑧

美術館や博物館に行く、⑨日記をつける、⑩本を読んでいてわからない言葉を国語辞典で引く、⑪知りたいことを自分で百科事典や図鑑で調べる、⑫読みたい本を本屋さんで探して買う、⑬地域の図書館で本を読んだり借りたりする、⑭歴史や伝記の本を読む、⑮自然や動物・植物の本を読む、などの各項目でも見られる。日本の児童・生徒は学年が上がるほど、幅広い意味での学習行動が減っていくと言える。

ただし、⑭家族と政治のことについて話すや⑰新聞のニュース欄を読む、⑲テレビで日本や世界の生活・社会を紹介する番組を見るなどの、家族との会話やマスコミとの接触に関係する各項目では、学年が高くなるほど「よくする(時々する)」と答える割合が高くなっていく。

### 2. 日常生活の中での学習(中学生の場合)

次に、中学生について、成績別の差異に着目しながら日常生活の中での学習の状況を見よう(表1-15)。

まず、全体から見ると、多いほうから順に、第一位が⑫読みたい本を本屋さんで探して買うの78.5%、第二位が⑲テレビで自然、動物、植物の番組を見るの58.2%、第三位が⑰新聞のニュース欄を読むの53.2%、第四位が⑦家で動物・植物の世話をするの48.5%、第五位が⑳テレビで歴史ドラマを見るの46.4%、第六位が⑩本を読みながらわからない言葉を辞

書で引くの45.4%、第七位が㉓テレビで日本や世界の生活・社会を紹介する番組を見るの44.1%となっている。

次に、成績別の観点からこの表を見ると、他の図表と比べてここでは成績別の差異が全般に小さいことに気づく。先程の順位で見ると、第一位の⑫読みたい本を本屋さんで探して買う、第二位の⑲テレビで自然、動物、植物の番組を見る、第五位の⑳テレビで歴史ドラマを見るなどでは差がないかあってもごくわずかであるし、第四位の⑦家で動物・植物

の世話をするでは、成績下位の生徒のほうが「よくする(時々する)」と答えた割合が高くなってすらいる。

そして、成績ごとに大きな差異があったのは、次のような項目に関してであった。すな

わち、㉑新聞のニュース欄を読む、⑭家族と政治のことについて話す、㉒テレビで日本や世界の生活・社会を紹介する番組を見るなどであった。成績下位の生徒はかたいことは苦手のようなものである。

表1-14 日常生活の中での学習

	小 5 (2578)	中 2 (2544)	高 2 (2005)
① 自分が使っている部屋を自分で掃除する	67.8		
② 自分で食事を作って食べる	32.9		
③ 家の手伝いをする	79.2		
④ 友だちと家の外で遊ぶ	78.4		
⑤ テレビゲームをする	53.0		
⑥ 虫を観察したり虫取りをする	27.8		
⑦ 家で動物・植物の世話をする	60.5	48.5	38.2
⑧ 美術館や博物館に行く	23.2	18.6	15.5
⑨ 日記をつける	28.1	20.4	15.2
⑩ 本を読んでいてわからない言葉を国語辞典で引く	52.7	45.4	45.3
⑪ 知りたいことを自分で百科事典や図鑑で調べる	44.7	35.9	32.5
⑫ 読みたい本を本屋さんで探して買う	75.0	78.5	67.5
⑬ 地域の図書館で本を読んだり借りたりする	43.5	24.9	23.1
⑭ 家族と政治のことについて話す	22.9	22.9	36.0
⑮ 家族と自分の住んでいる町や地域のことについて話す	35.7		
⑯ 家族と自然や環境のことについて話す	34.9	26.5	30.2
⑰ 家族とテレビで見た大きな事件のことについて話す	58.2		
⑱ 歴史や伝記の本を読む	47.4	35.7	30.5
⑲ 自然や動物・植物の本を読む	50.8	23.4	14.3
⑳ 文学・小説・物語・童話などの本を読む	71.7		
㉑ 新聞のニュース欄を読む	40.9	53.2	71.6
㉒ テレビで自然や歴史を紹介する番組を見る	51.4		
㉓ テレビで日本や世界の生活・社会を紹介する番組を見る	40.0	44.1	50.4
㉔ テレビで政治のことを紹介する番組を見る	19.6		

注1) 数値は「よくする」と「時々する」の合計。

注2) 中・高校生の空欄は、その項目を質問していない。

注3) ( )内はサンプル数。

### 3. 小学生の日常生活の中での学習の構造

本報告では、小学生のデータを対象に、マスメディアとの接触を除いた日常生活の中での学習に関する17の質問項目について因子分析を行っている。この分析のねらいは、小学生自身の視点からの、日常生活の中での学習の構造化を試みることである。

因子分析(バリマックス回転法)の結果、表1-16にある4つの因子が得られた。これら4つの因子は、児童が日常生活の中での学習を行うときの基準(観点)であり、彼(女)らは自分がどのような学習をするかあるいはしないかを、この4つの観点から決定してい

るのである。表の中で、質問項目と数値は、その因子がどのような因子であるかを特徴づけている。

まず第1因子から見ると、この因子は⑯家族と自然や環境のことについて話す、⑮家族と自分の住んでいる町や地域のことについて話す、⑰家族とテレビで見た大きな事件のことについて話す、⑭家族と政治のことについて話すなどの家族との会話に関する質問項目によって特徴づけられている。「家族との会話因子」と名づけよう。

第2因子を特徴づけている質問項目は⑪知

りたいことを自分で百科事典や図鑑で調べる、⑩本を読んでいてわからない言葉を国語辞典で引く、⑬地域の図書館で本を読んだり借りたりする、⑧美術館や博物館に行くなどである。これらの項目の動詞の部分と並べると、自分で調べたり、引いたり、借りたり、行ったりしている。この因子を「自発的学習因子」と呼ぼう。

次に、第3因子は、①自分が使っている部屋を自分で掃除する、③家の手伝いをする、⑤テレビゲームを(しない)、②自分で食事を作って食べる、⑦家で動物・植物の世話をするなど項目によって性格づけられている。身の辺の自立に関する項目が並んでいる。テレビゲームがここに来ているのは、テレビゲー

ムをすると自立ができないということの意味しているのであろうか。また、⑦家で動物・植物の世話をすることは、多くの親が目論んでいる通り子どもの自立を促進するようである。この因子を「身辺自立因子」と名づけよう。

最後に、第4因子は、⑥虫を観察したり虫取りをする、④友だちと家の外で遊ぶの2つの質問項目によって特徴づけられている。「戸外生活因子」と呼ぼう。

以上、我々は小学生自身の視点に立って、日常生活の中での学習を構造化する「家族との会話」、「自発的学習」、「身辺自立」、「戸外生活」の4つの因子を得ることができた。

表1-15 成績別に見た日常生活の中での学習(中学生)

	上位 (940)	中位 (557)	下位 (1017)	全体 (2544)
⑪ 資料や事典を使って、何かを調べる	39.1	34.8	33.3	35.9
⑩ 本を読みながらわからない言葉を辞書で引く	49.5	45.2	41.9	45.4
⑬ 歴史小説や歴史の本を読む	40.3	36.1	31.9	35.7
⑲ 自然や動物・植物の本を読む	21.9	22.6	25.1	23.4
⑳ 新聞のニュース欄を読む	60.3	53.7	46.8	53.2
⑭ 家族と政治のことについて話す	29.8	22.6	16.6	22.9
⑯ 家族と自然や環境のことについて話す	30.9	24.2	23.7	26.5
㉑ テレビで歴史ドラマを見る	48.0	48.3	44.2	46.4
㉒ テレビで自然、動物、植物の番組を見る	57.9	57.1	59.3	58.2
㉓ テレビで日本や世界の生活・社会を紹介する番組を見る	50.7	44.2	38.0	44.1
⑧ 美術館や博物館に行く	19.5	17.8	18.5	18.6
⑦ 家で動物・植物の世話をする	45.6	48.3	51.2	48.5
⑨ 日記をつける	21.2	21.7	18.9	20.4
⑫ 読みたい本を本屋さんで探して買う	79.8	79.5	76.8	78.5
⑬ 地域の図書館で本を読んだり借りたりする	28.4	27.8	20.2	24.9

注1) 数値は「よくする」と「時々する」の合計。  
注2) 表中の番号は表1-14のものを用いた。  
注3) ( )内はサンプル数。

表1-16 日常生活の中での学習因子分析(小学生)

第1因子 家族との会話		第2因子 自発的学習	
⑯ 家族と自然や環境のことについて話す	.657	⑪ 知りたいことを自分で百科事典や図鑑で調べる	.648
⑮ 家族と自分の住んでいる町や地域のことについて話す	.648	⑩ 本を読んでいてわからない言葉を国語辞典で引く	.606
⑰ 家族とテレビで見た大きな事件のことについて話す	.560	⑬ 地域の図書館で本を読んだり借りたりする	.362
⑭ 家族と政治のことについて話す	.530	⑧ 美術館や博物館に行く	.330
第3因子 身辺自立		第4因子 戸外生活	
① 自分が使っている部屋を自分で掃除する	.513	⑥ 虫を観察したり虫取りをする	.595
③ 家の手伝いをする	.479	④ 友だちと家の外で遊ぶ	.320
⑤ テレビゲームをする	-.385		
② 自分で食事を作って食べる	.360		
⑦ 家で動物・植物の世話をする	.341		

#### 4. 小学生の日常生活の中での学習

次に、上述の4つの側面を踏まえながら、小学生の日常生活の中での学習の現状を見てみよう。

##### (1) 全体および性別の比較

表1-17は、全体および性別に、そして4つの因子を特徴づけた質問項目ごとに、小学生の日常生活の中での学習状況を見たものである。

最初に**家族との会話**を特徴づけていた質問項目から見ると、⑰家族とテレビで見た大きな事件のことに話すが58.2%と多くなっているが、その他の⑯家族と自然や環境のことに話す(34.9%)、⑮家族と自分の住んでいる町や地域のことに話す(35.7%)、⑭家族と政治のことに話す(22.9%)などは、あまり大きな値ではない。小学生の場合、家族との会話を通しての、少なくとも上述のような事柄の学習はあまりされていない。

次に、**自発的学習**を特徴づけている質問項目に関しては、⑪知りたいことを自分で百科事典や図鑑で調べるが44.7%、⑩本を読んでいてわからない言葉を国語辞典で引くが52.7%、⑬地域の図書館で本を読んだり借りたりするが43.5%と4割台から5割台の値を示している。小学生たちは、家族の会話を通しての学習の場合と比べて、まあまあ自発的に学習しているといえるのではないだろうか。ただし、⑧美術館や博物館に行くは23.2%しかない。

**身辺自立**と関連の深い質問項目では、小学生には料理は難しいのか②自分で食事を作って食べている割合は32.9%、そして⑤テレビゲームをしてしまう児童も53.0%いる。しかし、①自分が使っている部屋を自分で掃除するが67.8%、③家の手伝いをするが79.2%、⑦家で動物・植物の世話をするが60.5%と軒並み高い値になっている。日本の子どもたちは世間で言われているよりは身辺自立が進ん

でいるのではないだろうか。

最後に**戸外生活**を特徴づけている2つの項目は、④友だちと家の外で遊ぶが78.4%と大きい値を示しているが、⑥虫を観察したり虫取りをするという自然の学習との結びつきがより強い質問に対しては27.8%と少なくなっている。

なお、性別には、**家族との会話**、**自発的学習**、**身辺自立**の3つは女子のほうがおおむね高い値を示している。言い換えるならば、女子のほうがよく日常生活の中での学習をしている。しかし、**戸外生活**に関しては⑥虫取りや観察、④戸外での遊びの両者とも、男子のほうがよく学習している。

##### (2) 成績別に見た小学生の日常生活の中での学習

表1-18は、小学生の日常生活の中での学習の状況を成績別に示したものである。この表で、**家族との会話**や**自発的学習**とかかわりのある質問項目は、成績上位の児童が成績下位の児童よりも「よくする(時々する)」割合が高かった。もちろん、成績下位の児童がそうした学習をしていないというわけではないが、質問項目によっては回答に20ポイントから30ポイント近い差がついているものもある。成績上位の児童のほうが**家族との会話**や**自発的学習**をよくしていると言えることができよう。

**身辺自立**については、①自分が使っている部屋を自分で掃除する、③家の手伝いをする、⑦家で動物・植物の世話をするの3つの項目で成績上位の児童のほうが下位の児童よりも「よくする(時々する)」割合が10ポイント近く高いが、②自分で食事を作って食べるや、⑤テレビゲームをするでは両者の間にほとんど差がない。

また、**戸外生活**についても成績ごとの差異はほとんど見られなかった。

以上を整理すると、成績上位の児童のほうが下位の児童よりも**家族との会話**や**自発的学**

習を通しての学習を頻繁に行っており、**身辺自立**的な行為を通しての学習も部分的には成績上位の児童のほうが頻繁に行っている。し

かし、**戸外生活**を通しての学習は成績ごとの差異がほとんどない。

表1-17 性別に見た日常生活の中での学習(小学生)

	男子 (1319)	女子 (1259)	全体 (2578)
(%)			
<b>I. 家族との会話因子</b>			
⑯ 家族と自然や環境のことに話す	30.5	39.6	34.9
⑮ 家族と自分の住んでいる町や地域のことに話す	29.8	41.9	35.7
⑰ 家族とテレビで見た大きな事件のことに話す	53.5	63.0	58.2
⑭ 家族と政治のことに話す	22.7	23.1	22.9
<b>II. 自発的学習因子</b>			
⑪ 知りたいことを自分で百科事典や図鑑で調べる	42.2	47.3	44.7
⑩ 本を読んでいてわからない言葉を国語辞典で引く	47.1	58.5	52.7
⑬ 地域の図書館で本を読んだり借りたりする	35.2	52.2	43.5
⑧ 美術館や博物館に行く	24.3	21.9	23.2
<b>III. 身辺自立因子</b>			
① 自分が使っている部屋を自分で掃除する	57.0	79.1	67.8
③ 家の手伝いをする	71.3	87.4	79.2
⑤ テレビゲームをする	72.6	32.2	53.0
② 自分で食事を作って食べる	29.5	36.5	32.9
⑦ 家で動物・植物の世話をする	53.8	67.5	60.5
<b>IV. 戸外生活因子</b>			
⑥ 虫を観察したり虫取りをする	35.5	19.6	27.8
④ 友だちと家の外で遊ぶ	82.7	73.8	78.4
<b>V. その他の項目</b>			
⑨ 日記をつける	20.0	36.5	28.1
⑫ 読みたい本を本屋さんで探して買う	73.3	76.6	75.0

注1) 数値は「よくする」と「時々する」の合計。  
注2) ( )内はサンプル数。

表1-18 成績別に見た日常生活の中での学習(小学生)

	上位 (760)	中位 (859)	下位 (931)	全体 (2578)
I. 家族との会話因子				
⑯ 家族と自然や環境のことについて話す	46.4	31.8	28.2	34.9
⑮ 家族と自分の住んでいる町や地域のことについて話す	42.6	36.4	29.2	35.7
⑰ 家族とテレビで見た大きな事件のことについて話す	68.4	59.5	48.8	58.2
⑭ 家族と政治のことについて話す	32.1	19.3	18.5	22.9
II. 自発的学習因子				
⑪ 知りたいことを自分で百科事典や図鑑で調べる	55.7	43.8	36.3	44.7
⑩ 本を読んでいてわからない言葉を国語辞典で引く	66.7	54.8	39.2	52.7
⑬ 地域の図書館で本を読んだり借りたりする	51.3	44.4	36.3	43.5
⑧ 美術館や博物館に行く	30.9	21.7	18.2	23.2
III. 身辺自立因子				
① 自分が使っている部屋を自分で掃除する	71.7	71.1	61.5	67.8
③ 家の手伝いをする	83.9	80.3	74.2	79.2
⑤ テレビゲームをする	51.8	51.5	55.2	53.0
② 自分で食事を作って食べる	31.8	32.8	33.6	32.9
⑦ 家で動物・植物の世話をする	63.6	61.8	56.9	60.5
IV. 戸外生活因子				
⑥ 虫を観察したり虫取りをする	30.9	26.2	26.5	27.8
④ 友だちと家の外で遊ぶ	79.5	78.3	77.6	78.4
V. その他の項目				
⑨ 日記をつける	31.8	29.3	23.6	28.1
⑫ 読みたい本を本屋さんで探して買う	77.0	76.3	72.0	75.0

注1) 数値は「よくする」と「時々する」の合計。  
注2) ( )内はサンプル数。

## 5. 日常生活の中での学習と教科の好き嫌い

よく言われることに、最近の子どもたちは日常生活での経験に乏しくて、学校の授業に技能の面、社会常識の面などでついてこれないということがあつた。もちろん、日常生活の中での学習は学校の教科のために行うものでもないし、学校の教科の出来・不出来と簡単に関係づけられるものでもない。しかし、学校での学習が日常生活の中での学習と無関係に展開されるものであつては困るし、また、後者の学習が豊かな児童は、前者の学習をする際のレディネスが豊かにできているはずでもある。

ここでは表1-19を用いて、日常生活の中での学習が、学校での学習に与えるであろう影響のうちから、学習のレディネスとしての「教科の好き嫌い」に与える影響に焦点を当て、その影響関係を考えてみたい。

この表は、各質問項目に対する、「1. する(=よくする+時々する)」という回答と、「2. しない(=あまりしない+ぜんぜんしない)」という回答ごとに、学校での教科の好き嫌いを尋ねた結果を示したものである。したがって例えば、⑯家族と自然や環境のことについて話すという質問に「1. する」と答えた男子の児童は、国語が好きな割合は59.7%、社会が好きな割合が71.1%、理科が好きな割合が84.3%であり、同じ⑯家族と自然や環境について話すという質問に「2. しない」と答えた男子の児童は、国語が好きな割合は37.4%でしかなく、社会が好きな割合も48.7%、理科が好きな割合も73.6%でしかない。

さて、それではまず、家族との会話と関係の深い項目から見てみよう。女子では、全ての項目で「1. する」と答えた児童が「2. しない」と答えた児童よりも国語、社会、理科

の各教科が好きと答える割合が高くなっている。すなわち、家族との会話を通しての学習と教科の好き嫌いとの間に正の相関が見られる。ただし、理科に関してはやや弱い相関にとどまっている。また、男子では国語や社会との間には強い正の相関が見られるが、理科との間には弱い正の相関ないしは相関が見られない。男女とも、家族との会話を通しての学習は理科との関連が薄い。

次に、自発的学習との関連では、男女とも、おおむね全ての教科で自発的な学習をする頻度と教科の好き嫌いとの間に正の相関が得られた。

身辺自立については、①自分が使っている部屋を自分で掃除する、③家の手伝いをするの2つの項目で各教科との間に正の相関が見られた。そして、⑦家で動物・植物の世話をするでは、男子の国語以外の各教科との間に正の相関が見られた。また、⑤テレビゲームについては、女子で各教科との間に負の相関、すなわちテレビゲームをしない児童のほうが各教科が好きである傾向があつた。

戸外生活との関連では、⑥虫を観察したり取ったりすることと各教科の好き嫌いとの間に正の相関が見られた。

以上を整理すると次のようになる。すなわち、学校の教科の好き嫌いとの間には、まず、家族との会話や自発的学習との間には正の相関が見られる。身辺自立や戸外生活との間には一部の項目について正の相関が見られる。

こうした結果は、一般に言われている「日常生活の豊かさが学校での教科の学習の助けになる」という仮説を、学習のレディネスという側面から支持するものである。

注1) 数値は「とても好き」と「まあ好き」の合計。  
注2) ①は15%以上、②は10%以上、③は5%以上の差がある項目。  
注3) ( )内はサンプル数。

表1-19 日常の学習と教科の好き嫌い(小学生)

(%)

	男子 (1319)			女子 (1259)		
	国語	社会	理科	国語	社会	理科
<b>I. 家族との会話因子</b>						
⑯ 家族と自然や環境のことについて話す						
1. する	59.7	71.1	84.3	69.5	56.2	73.3
2. しない	◎37.4	◎48.7	○73.6	○54.9	◎39.4	○60.5
⑮ 家族と自分の住んでいる町や地域のことについて話す						
1. する	58.0	69.0	82.2	73.2	53.9	69.4
2. しない	◎38.2	◎49.7	△74.8	◎51.5	○40.5	△62.6
⑰ 家族とテレビで見た大きな事件のことについて話す						
1. する	52.5	64.2	78.3	67.7	49.8	69.0
2. しない	◎34.4	◎45.4	75.4	◎48.6	○39.6	△59.8
⑭ 家族と政治のことについて話す						
1. する	58.2	71.9	78.3	74.5	57.6	74.1
2. しない	◎40.0	◎50.7	76.7	◎56.6	◎42.6	○63.1
<b>II. 自発的学習因子</b>						
⑪ 知りたいことを自分で百科事典や図鑑で調べる						
1. する	55.0	68.7	85.4	70.6	56.8	73.9
2. しない	◎36.0	◎45.6	○70.8	◎51.6	◎36.2	◎58.1
⑩ 本をよんでいてわからない言葉を国語辞典で引く						
1. する	56.0	66.3	83.6	68.3	52.4	70.4
2. しない	◎33.7	◎45.8	○71.2	◎49.7	◎37.0	○59.0
⑬ 地域の図書館で本を読んだり借りたりする						
1. する	56.5	65.7	80.4	66.5	50.7	69.9
2. しない	◎37.4	◎50.0	△75.3	○54.2	△41.0	△60.8
⑧ 美術館や博物館に行く						
1. する	54.1	67.8	84.7	77.5	60.1	75.0
2. しない	○40.9	◎51.7	○74.7	◎55.9	◎42.0	○63.1

(%)

	男子 (1319)			女子 (1259)		
	国語	社会	理科	国語	社会	理科
<b>III. 身近自立因子</b>						
① 自分が使っている部屋を自分で掃除する						
1. する	51.9	62.2	79.9	63.6	48.8	67.1
2. しない	◎34.0	◎46.5	△73.5	○49.8	○35.6	△59.8
③ 家の手伝いをする						
1. する	49.2	61.2	79.2	63.0	47.5	66.7
2. しない	◎29.5	◎40.1	△71.3	◎43.2	○35.1	△56.8
⑤ テレビゲームをする						
1. する	44.3	54.8	76.6	55.7	40.1	61.3
2. しない	44.4	57.3	79.0	△63.4	△49.3	△67.6
② 自分で食事を作って食べる						
1. する	49.9	58.9	78.9	67.5	48.4	66.9
2. しない	△41.6	54.1	76.2	○56.5	44.8	64.8
⑦ 家で動物・植物の世話をする						
1. する	45.2	60.3	81.4	63.9	48.2	69.5
2. しない	42.3	○50.0	△71.9	△54.2	△41.8	○57.7
<b>IV. 戸外生活因子</b>						
⑥ 虫を観察したり虫取りをする						
1. する	49.6	63.5	82.5	67.2	53.8	77.7
2. しない	△41.1	○51.2	△74.1	△59.0	△44.4	○62.7
④ 友だちと家の外で遊ぶ						
1. する	45.6	57.4	76.7	61.2	45.7	66.6
2. しない	△36.2	○46.3	78.9	59.6	46.6	63.0
<b>V. その他の項目</b>						
⑨ 日記をつける						
1. する	53.8	62.1	83.3	72.8	53.0	70.4
2. しない	○41.9	△53.8	△75.5	◎53.6	○41.5	△62.7
⑫ 読みたい本を本屋さんで探して買う						
1. する	47.7	59.0	78.3	63.4	48.7	66.2
2. しない	○34.1	○45.8	△73.2	○52.4	○37.8	64.2

注1) 数字は「とても好き」と「まあ好き」の合計。

注2) ◎印は15%以上、○印は10%以上、△印は5%以上の差がある項目。

注3) ( )内はサンプル数。